

2014年度 第6回 CPC 研究会

日 時: 11月14日(金) 13:30~16:30

会 場: 連合会館 201 会議室

(〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11 TEL: 03-3253-1771)

参加費: 維持会員・大学官公庁関係 = 無料 / 非会員 = 15,000 円

<http://cpc-society.org/>

13:30 ~ 14:55

「生体融合型ナノカーボンバイオチップの開発

- 化学修飾ナノチューブを用いた細胞毒性の軽減・緩和 -」

東京都市大学 平田 孝道 氏

- 1) ナノチューブを用いた細胞毒性の軽減・緩和
- 2) プラズマ活性化法によるナノチューブの化学修飾
- 3) 化学修飾ナノチューブを用いたバイオセンサの開発
- 4) プラズマ医療による革新的応用展開

バリスティック伝導特性を持ち、生体物質・組織(特に、神経系)と高い密着度を有して機能的に融合(接続)することが期待できるカーボンナノチューブ(CNT)を用いた生体融合型ナノカーボンバイオチップの開発について紹介します。具体的には、プラズマイオン照射(プラズマ活性化)法によるバイオチップ自体及びその周辺部の化学修飾処理による生体適合性の向上、並びにプラズマ医療に関する革新的研究についても紹介します。

15:05 ~ 16:30

「電気化学分野におけるアセチレンブラックの用途展開について」

電気化学工業株式会社 横田 博 氏

- 1) 研究の背景
- 2) リチウムイオン電池用途の導電剤としての活用(正極剤中心)
- 3) 正極活物質とのアセチレンブラックの複合化
- 4) 今後の展望

近年、リチウムイオン電池(LiB)の性能向上を目的とした研究・技術開発が盛んに行われています。LiBは正負活物質、電解液、バインダー、集電体、セパレータ、導電剤などの多くの材料から構成される複合材料です。今回の講演では、これまでほとんど取り上げられることのなかった LiB 用導電剤としてのアセチレンブラックの役割、使用法等について最近得られた知見を中心に、特にその電池性能に与える重要性について紹介します。また、今後もキーマテリアルとなり続けるであろうアセチレンブラックの有るべき姿、技術課題等についても簡単に紹介します。

CPC 研究会講演会事務局行 FAX: 029-861-8712 または e-mail: sec@cpc-society.org

11月14日の研究会に出席します(連合会館 201 会議室)

お名前: 維持会員 非会員 大学関係

ご所属:

Tel:

Fax:

E-mail: